

産学官連携会議について

【資料3】

第2回会議の議論のまとめ（調布市の強み・弱み）

全般

生産年齢人口・総人口とも増加している。多摩地区内でも増加率が高い

地域活動のリーダー不足。青年会議所との連携等も含め、人財を育成していく態勢が必要

災害時のフェーズフリーの取組

市役所全体の広報スキル・広報マインドの向上が必要

駅周辺について。世田谷区や杉並区は「住宅地」、府中・多摩センターなどは「事業所」に特化した感があるが、調布市は両面あってバランスの良い街

緑が多くて都心に近いというメリットをアピールできていなくて勿体ない

「バランスの良いまち」が「インパクトがないまち」になっている恐れ

文化・産業・観光関連

調布駅前の整備により、労働人口の増加も期待できる

各駅前について「面的な広がり」があるとよりよい

自社内で調布市に居住している社員が多く、プレミアム付商品券が好評。他市区と比較して周知が進んでいる

「調布の名産品」として広く知られているものが少ない

文化施設、会議室が市の中心地にあるため、コミュニティが組成しやすい

深大寺などの豊かな観光資源があるが、アピールが足りない

地域メディアが充実している。イベント情報を一元化できる仕組みがある

事業所・企業を誘致する余地がある

観光地・スポーツ施設等があるので、他地域から来てもらえるまち

都市整備・環境関連

駅と商業施設が近接していて、コンパクトなまちづくりがなされている

ゴミのリサイクル率が高い

ゼロカーボンシティ宣言をし、自治体として積極的に取り組んでいく姿勢

市の中に鉄道と幹線道路(高速道路含む)があり、交通の便が良い

調布駅前広場の広さ、空の高さ。何でもできるスペース

空き家が多くある

市の南北間の交通に難がある

体育館などの公共施設が老朽化している

旧甲州街道の歩道の狭さが課題

ゼロカーボンについて、他自治体や市民へ見せていく姿が重要

健康・福祉関係

東京都福祉保健局の資料によると、待機児童が多い（令和3年4月1日時点 46人(都内7番目に多い自治体)、令和2年4月1日時点 149人(都内4番目に多い自治体)）

その他・自由意見

良いところはたくさんあるが、「一言で言うところ〇〇」というものがあるとよい

調布スマートシティ協議会などを通じて、『調布は「〇〇のまち」』というイメージ作りができると、仲間が集まってくると思う

「強み」と「弱み」は分科会ごとに補完関係にあるように感じる

観光やスポーツで人が集まる仕組みを作ることが重要

ブランディングができると、夜間人口と昼間人口のバランスが良くなる

高齢者のデジタル化を推進してくると良いと思う

資源を有効活用して、人が集まる「仕掛け」ができるとよい

福井県鯖江市の「メガネのまち」のようなブランディングが必要

調布駅前広場という財産を活用すべき

グリーンホールやたづくりなどの施設が調布駅から近いのは大変良いが、あまりにも至近であるがゆえ、周辺商店街などへの波及効果が少ないのではないかと

味の素スタジアムと深大寺間の交通があるとよい

「映画のまち」は大きな資産だが、もう少しアピールできると思う。現時点では調布駅周辺にとどまっていて、市内他地域への広がりが課題だと思う

「ゼロカーボンシティ」は企業誘致にプラスになる(企業側からすると、進出する際の決め手になりうる)。再エネ100%のオフィスビルがあるとよい

強み

弱み